

令和元年度上半期 止血・血栓委員会活動報告

委員長：長江 千愛、副委員長：石村 匡崇

委員：小阪 嘉之、河崎 裕英、野上 恵嗣、新小田 雄一、小倉 妙美、金田 眞

1. 小児血友病診療ネットワーク活動

慎重に検討を重ねた結果、SNSによる個人情報漏洩の危険性を危惧し終了とした。

2. 臨床研究など

① 「小児造血幹細胞移植後の aHUS の疫学調査と移植後 TAM におけるエクリズマブ使用状況の調査研究」 今年の学術学会で結果が報告された。今後、論文投稿予定。

② 「乳幼児重症型血友病に対する定期補充療法に関する前方視的研究」 今年の学術集会で結果を報告予定。

③ 小児血友病患者の診断治療ガイドを策定するための準備をすすめている。

その他、我が国の小児の血栓症の治療に関する実態調査、ALL の寛解導入療法における血栓症の調査、血友病 B インヒビターの治療実態調査、エミシズマブと ITI の併用に関しての調査・研究など、新しい臨床研究を検討中。

3. 他関連学会との連携

第 41 回日本血栓止血学会（2019 年 6 月 20-22 日 三重県総合文化センター 三重大学 和田英夫教授）にて日本小児血液がん学会と日本血栓止血学会とのジョイントシンポジウムが開催され、血栓症 2 題と血友病 2 題の発表が行われた。今後、逆に小児血液がん学会でも止血血栓に関するジョイントを他学会と計画する。

以上

文責：長江 千愛